

アンケート報告書

日時	2015年 1月 23日(金) 13:00~17:00		
会場	葛手第二ビル 技術士会会議室		
主催	公益社団法人日本技術士会 海外活動支援実行委員会		
後援	独立行政法人 国際協力機構 (JICA)		
参加者数	合計	104名	(合計アンケート回収: 65名)
	東京(統括本部)	85名	(統括本部アンケート回収: 50名)
	技術士会会員	62名	(JICA PARTNER含む)
	非会員	3名	
	技術士会関係者	16名	(招待者、本部関係者、海外委員会委員)
	講師	4名	(佐藤委員長除く)
	WEB参加地域本部	19名	(地域本部合計アンケート回収: 15名)
	北海道本部	6名	(アンケート回収: 6名)
	中部本部	1名	(アンケート回収: 1名)
	中国本部	11名	(アンケート回収: 7名)
	九州本部	1名	(アンケート回収: 1名)

アンケート回収結果

アンケート回収者数	: 65名	(統括本部 50名 + 地域本部 15名)
アンケート回収率	: 77%	(講師、技術士会関係者を除く)

アンケート集計結果考察

1. 講習会の参加動機、内容等について

(1) 講習会への参加動機 (複数回答可)

テーマに興味があったが47%、今後海外業務の仕事をしたいため25%とこの2つだけで72%と7割強を占めた。海外の仕事に興味を示す技術士の参加を考慮すると当然と思われる。

(2) 講習会の参加目的の達成(満足)度

目的を達成(満足)したが68%、どちらとも言えないが17%で、目的を達成(満足)が3分の2を占めた。今回の講習会は「海外との技術交流・技術協力の機会をどのように創るか」として参加者に対して各個人の主体的な活動をしてもらうように情報提供したい意図であったが参加者はどのように感じたであろうか。

(3) 今後の講習会の内容・テーマ

今回の内容程度で良いが3分の2弱であった。今回はこれまでのやり方を変えて海外活動支援実行委員会からの情報発信に加え、JICAについてはこれまでの国際協力人材部からの求人応募方法の情報提供から視点を変えて積極的に技術協力の機会を自らの活動で創るJICA草の根事業関連の講演とした。今後の活動の検討材料としたい。

2. 海外業務・活動の経験と今後の希望について

(1) 海外業務等の経験

予想していた通りであったが、海外業務等経験者が多数を占めた。それも企業内技術者としての海外経験者が多数を占め、現役時代から海外業務を経験している技術者が多かった。但し、出張、滞在回数は1～3回程度の技術者が多かった。また技術士としての海外業務経験者は人数として13%程度いた。海外業務経験者に限ると出張経験が10回以上と経験豊富な技術士の割合が多かった。

(2) 海外業務希望

今後の海外業務希望

当然と思われるが今後の海外業務希望者が94%と殆どを占めた。

海外業務・活動の目的

分類としては多い順に 国際貢献、プロとしてのビジネス、自己表現の順であった。国際貢献が40%強で積極性が感じられた。

希望する地域

東南アジアが44%とダントツでその後に東アジア、東アジア、南アジアが続き、アジアの人气が高かった。更にその後に東欧、旧ソ連と南米が続いた。

業務・活動テーマ

提示した分類では32%で 技術人材育成、以下 中小企業指導24%、環境対策19%、インフラ整備18%の順が多かった。今後の参考としたい。

(3) 海外業務実施の課題

選択肢として5課題例を示し、それに対して複数回答可として選択してもらった。

選択の多い順から示すと

海外業務への参加方法の全般的な情報不足	33%
英語等コミュニケーション力	21%
海外業務実施のための経験・ノウハウ	18%
海外滞在・出張の安全・技術流出等リスク	12%
(JICAへの報告面倒等)	15%

皆、平均的に関心を持っていた。今後の講習会のテーマを検討するための参考としたい。

(4) 海外業務の準備

これから準備との回答が多かった。さらに多くの情報を収集したいが48%、これから具体的な準備をしたいが26%でこれで70%強となる。また当面具体的な予定はないが11%を占めた。

3. 専門分野等

(1) 専門分野について

- ・ 当然としても技術士の参加者が90%以上の大多数を占めた。但し、この中に複数回答PARTNER単独での回答者は2%(1名)であったが、人材育成関係の管理職と思われる。それ以外の方が6%いたが建設関係、電気関係の技術者であった。
- ・ 技術士は15部門からの参加があった。部門別内訳をみると建設部門が27%と最も多く次に電気・電子部門が15%、それに続き機械部門、応用理学部門が各々9%程度と

続いた。全部門を20部門とすると殆どの部門で関心があると思われる。

(2) 性別について

男性が100%で女性はいなかった。今後は女性技術士の参加を期待したい。

4. 年代について

技術士会の会員構成を反映していると思われるが40才代～64才が70%強と多数を占めた。その他、70才代が19%、65～69才が6%と定年退職後でも自分の現役時代の経験を海外でも活かしたいとの多くいた現れであるかも知れない。

5. その他アンケート回答者のご意見やご提案について

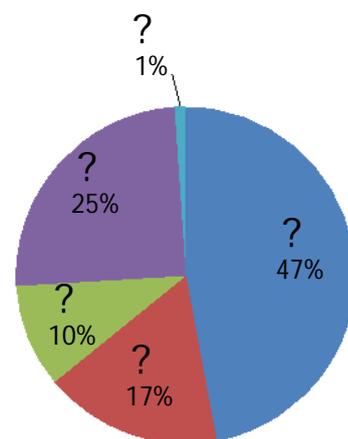
- ・ 沢山の方々から意見を頂いた。
- ・ そのほとんどが技術士会のセミナーに対して期待してる内容であった。
詳細は次項「アンケート集計詳細」を参照願いたい。

アンケート集計詳細 :

1. 講習会の参加動機、内容等について

(1) 講習会への参加動機： (複数回答可)

	回答数	比率 (%)
テーマに興味があった。	47	47
知識の習得のため。	17	17
現在の仕事に役立つ。	10	10
今後海外業務の仕事をしたいため。	25	25
その他	1	1
動機 合計	100	0



講習会への参加動機

(2) 本日の参加の目的達成 (満足) 度について

回答数 比率 (%)
43 68

目的を達成 (満足) した

理由 (記載のまま、順不同)

(東京本部)

- ・ HIDA, JSV, JICA に期待
- ・ 海外業務に向けたチャンネルを知ることができた。
- ・ 種々の立場から十分に学べた。
- ・ 海外技術指導の心構えを習得した。
- ・ 何をすべきか、何を準備すべきかが判った。
- ・ 情報収集の目的が果たせたので。
- ・ 海外技術協力の具体的なイメージがつかめた。
- ・ ニーズと派遣・紹介組織が分かった。
- ・ 海外協力の様々な方法があることがわかった。
- ・ 海外技術協力の現状が分かった。
- ・ 今後の活動スタンスを見極めることができた。
- ・ 状況が分かりました。
- ・ 新たな情報が得られた。
- ・ 海外の仕事の内容を聞いた。
- ・ 盛たくさんのテーマをアリガトウ。
- ・ 多くの新情報を入手できた。
- ・ 必要とする情報がかなり得られた。

(北海道本部)

- ・ 技術協力の業務内容が良かった。
- ・ 普段入手できない情報を入手できた。

(中国本部)

- ・ 海外技術協力の様々な形を知ることができた。
- ・ 新情報（現状の説明）があった故。
- ・ 技術者等の海外活動の実情が知れた。
- ・ 海外協力のシステムが理解できた。

目的を達成（満足）しなかった 9 14
理由 （記載のまま、順不同）

(東京本部)

- ・ 具体的な活動方法についてもっと情報が欲しい。
- ・ テーマ（3）は団体向け、テーマ（4）はテキストがベトナムになのか全く分からない。ハンドマウトと異なる。話の内容がさっぱり分らない。
- ・ 技術内容が見えない。（結果のみでは提案しようがない）
- ・ もう少し具体的な内容を期待していましたが、制度の説明が多かった。
- ・ もっと具体事例を勉強したかった。
- ・ 海外業務の際の留意点などの具体例を知りたかった。

どちらとも言えない 11 17
理由 （記載のまま、順不同）

(東京本部)

- ・ 私の専門領域に関する内容がなかった為。
- ・ 概略（総論）は分かるが自分の分野は個別に調べるか、JICAさん等に相談口はあるか不明。
- ・ 自分の得意な分野とマッチするか分かりにくかった。
- ・ 経験談が必要。
- ・ 発表者によって差異有り。

(中国本部)

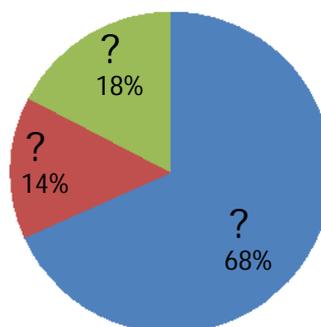
- ・ 後半の事業等の紹介はもう少し短くてよい。

(九州本部)

- ・ もう少し具体的な参加の方法や現地での段取り等を聞きたい。

達成（満足）度 合計 63 100

講習会の参加の目的
の達成（満足）度



(3) 今後の講習会の内容・テーマについて

今回の内容程度で良い

回答数 37 比率 (%) 62

する内容やテーマにしてほしい。

希望テーマ・内容等

(東京本部)

- ・ 女性が参加しやすいような(大学工学部の支援を得て)技術士制度
- ・ 事例紹介
- ・ 例えばテーマ(3)を個人向に絞って講演して頂くとか。
- ・ 省エネコンサルタント、省エネ診断
- ・ 前回(前年)のように個人体験談等もとり入れていただきたい。

- ・ ボランティア」ベースではなく、若年」技術士が海外に進出する為のヒントはありませんか？
- ・ 具体的なものがない。
- ・ 課題、対処内容、結果、異文化技術者との交流。
- ・ 最っと事例」を含めた内容にしてほしい。
- ・ 中国在住日本人の不当行為対応策。
- ・ 業務紹介や仕事のとり方。
- ・ 建設部門でどのような要望果たすべき役割、最新情報、支援のノウハウ課題など。
- ・ 実際に参加している人が多くなかったように思うが大変参考になりました。
- ・ 海外相手企業との契約の際の留意点。
- ・ 失敗の事例を聞きたい。

(中国本部)

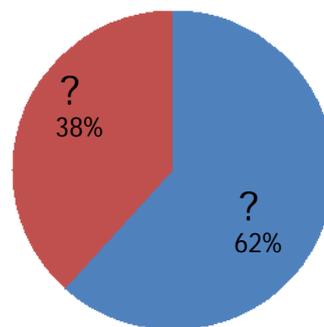
- ・ 現地指導事例の発表
- ・ 草の根の具体例 etc。

(九州本部)

- ・ 防災・気象・地震・火山・海洋等

今後の講習会の内容テーマ	合計	60	100
--------------	----	----	-----

今後の講習会の
内容・テーマ

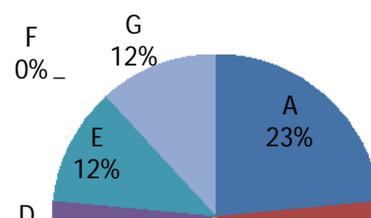


2. 海外業務・活動の経験と今後の希望について

(1) 海外業務等の経験 (複数回答可)

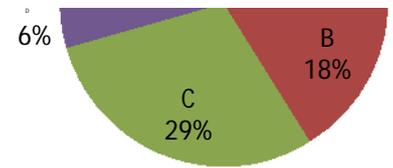
企業内技術者として海外に滞在滞在回数	人数	比率
	20 名	4 %

滞在回数	回答数	比率(%)
A 1回	4	23
B 2回	3	18
C 3回	5	29
D 4回	1	6



E	5回	2	12
F	6～9回	0	0
G	10回以上	2	12
合計		17	100

(滞在回数無回答 3)



海外滞在回数

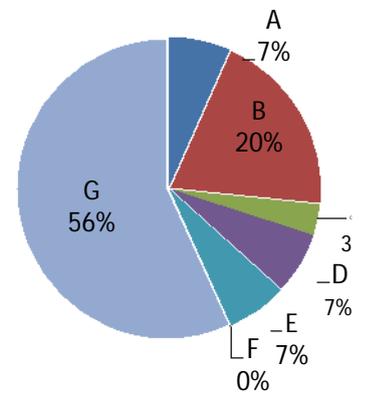
企業内技術者として海外業務、国際会議等の海外出張等 32 名

企業内技術者として海外への出張回数

出張回数	回答数	比率 (%)
A 1回	2	7
B 2回	6	20
C 3回	1	3
D 4回	2	7
E 5回	2	7
F 6～9回	0	0
G 10回以上	17	57
合計	30	100

(出張回数無回答 2)

7 %



海外出張回数

企業内技術者として海外滞在外出張経験なし 12 名 2 %
 技術士として海外業務経験 13 名 3 %

主な国・地域

(東京本部)

- ・ 東南アジア、シンガポール
- ・ 東南アジア
- ・ カンボジア、ミャンマー、タイ
- ・ 中国
- ・ 韓国

米国大学でのPost doc. Resercher (2年)

JICA Expertとしてイラン・イスラム共和国 (3か月)

政府派遣：サウジアラビア王国プラスチック加工研修施設運営 (2年間)

- ・ 中国・韓国
- ・ 中国 (東～西) 吉林～新疆ウイグル
- ・ 韓国
- ・ 韓国

(北海道本部)

- ・ 中国
- ・ 中国、ブータン

(中国本部)

- ・ モルディブ
- ・ マレーシア、ベトナム、韓国

その他海外経験 12 名 2 %

(東京本部)

- ・ 1957年末、2012年まで
- ・ 会社でポスドク招へい教授受入れなど。
- ・ フィリピン セブ島にて100,000m²の複数建物の省エネ診断
- ・ 上海 1997~1999
- ・ JICA
- ・ 大学院修士課程で東南アジアを研究 約2ヶ月タイ、カンボジア (H23~H24) 開発と環境保全
- ・ 科学技術庁派遣長期在外研究員として1年間英国に滞在。

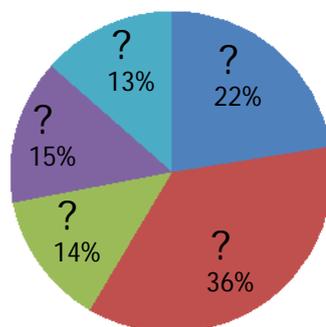
- ・ 米国勤務4年
- ・ ほとんどない。
- ・ 中国に林立する新設工業団地評価、タイ、中国
- ・ 青年海外協力隊
- ・ 企業内技術者としてベトナムに勤務又建設技術者として初のベトナム製油所建設に参画した。

(中国本部)

- ・ タイ国ラマ四世橋 製作工事(タイの鉄工所起用)
- 同 架設工事(現地架設業者起用)

合計 488 名 18 %

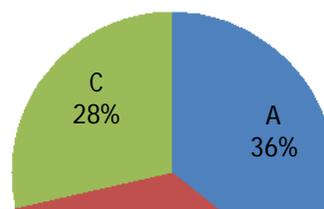
海外業務等の経験



技術士として海外業務経験

経験回数	回答数	比率 (%)
A 1~4回	5	36
B 5~9回	5	36
C 10回以上	4	29
合計	14	100

海外業務経験回数



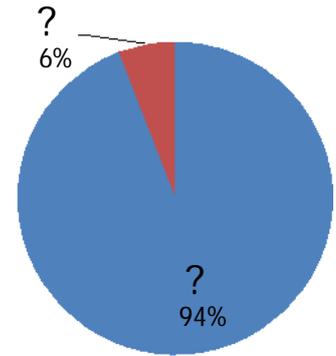


(2) 海外業務希望

1) 今後の海外業務希望

	人数	比率
希望する	48名	94%
希望しない	3名	6%
希望合計	51名	100%

(無回答 17名)

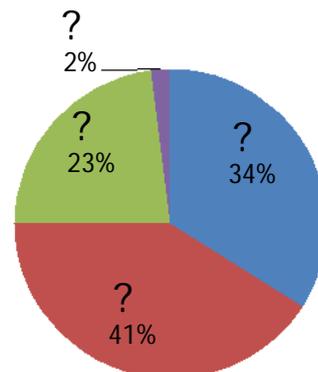


海外業務希望

2) 海外業務・活動の目的 (複数回答可)

	回答数	比率(%)
プロとしてのビジネス	34	34
国際貢献	41	41
自己実現	23	23
その他	2	2
(東京本部)		
・ 80才です、むり		
・ 公的貢献		
・ 国際貢献と生活のためのビジネスコンサルタント業務		
(北海道本部)		
・ 会社としての可能性		
(中国本部)		
・ 海外業務の情報のcatchと中国地方(日本)の技術士への伝達		
合計	100	100

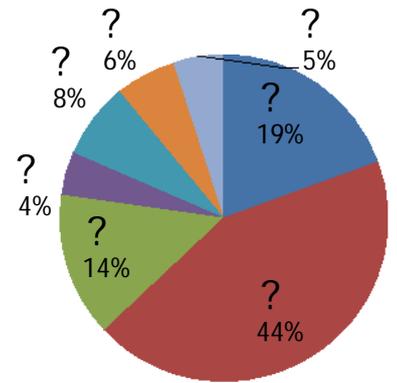
海外業務・活動の目的



3) 希望する地域 (複数回答可)

地域	人数	比率
東アジア(中国、韓国)	23名	19%
東南アジア	52名	44%

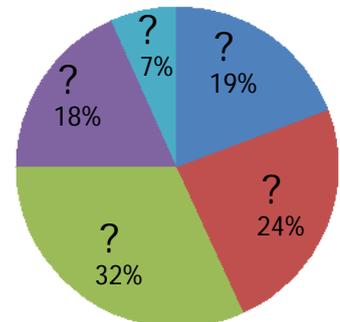
南アジア	17 名	14 %
アフリカ	5 名	4 %
東欧、旧ソ連	9 名	8 %
南米	7 名	6 %
その他	6 名	5 %
(東京本部)		
・ 西欧、中米		
・ パシフィック		
・ 欧州		
・ 大洋州		
・ 豪州		
(中国本部)		
・ オーストラリア		
合計	119 名	100 %
(無回答 4 名)		



希望する地域

4) 業務・活動テーマ (複数回答可)

テーマ	人数	比率
環境対策	20 名	19 %
中小企業指導	25 名	24 %
技術人材育成	33 名	32 %
インフラ整備	19 名	18 %
その他	7 名	7 %
(東京本部)		
・ 開発製品の事業化		
・ エレクトロニクス分野で		
・ 省エネ診断		
・ 通信ネットワーク		
・ 自動車技術開発		
・ 契約制度、評価 (インフラ設備の監督、検査)		
(中国本部)		
・ 自動車技術		
(九州本部)		
・ 防災、気象、海洋予報、地震、火山関係		
合計	104 名	100 %
(無回答 4 名)		

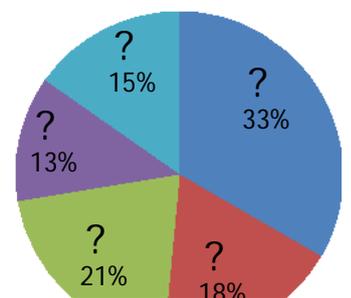


業務・活動テーマ

(3) 海外業務実施の課題

海外業務を実施するにあたっての課題

課題	人数	比率
海外業務への参加方法の	35 名	33 %
海外業務実施のための	19 名	18 %
英語等コミュニケーション力	22 名	21 %
海外滞在・出張の安全・	13 名	12 %



その他	16 名	15 %
合計	105 名	100 %
(無回答 1 名)		

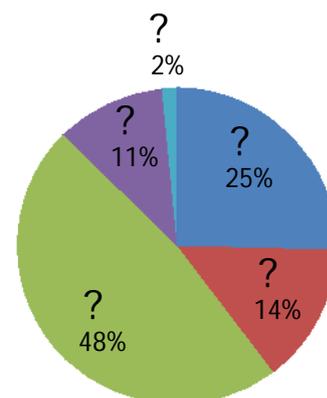


海外業務実施の課題

(4) 海外業務の準備

課題	人数	比率
今回の講習会に参加してこれから具体的な準備をしたい	16 名	25 %
既に準備を進めている	9 名	14 %
更に多くの情報を収集して検討したい	30 名	48 %
当面具体的な準備をする予定はない	7 名	11 %
その他	1 名	2 %
合計	63 名	100 %
(無回答 2 名)		

海外業務実施の課題



3. 専門分野等

(1) 専門分野について

1) 技術士の方	合計	59 名	92 %
技術部門別	内訳	人数	内訳比率

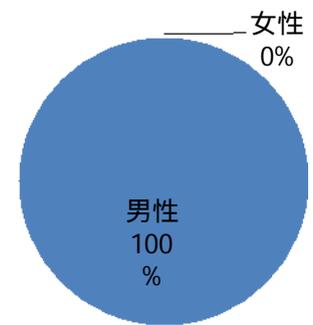


4) APECエンジニアに登録をしている アンケート回答者に対する割合	人数 比率	10 名 15 %
5) EMF国際エンジニアに登録をしている アンケート回答者に対する割合	人数 比率	7 名 11 %
6) 技術士パーソナルDB (海外)に登録をしている アンケート回答者に対する割合	人数 比率	5 名 8 %

(2) 性別について

性別分類	人数	比率
・ 男性	61 名	100 %
・ 女性	0 名	0 %
性別合計	61 名	100 %

(無回答 4 名)

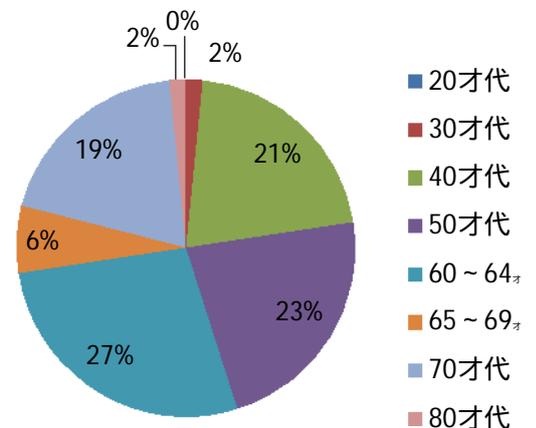


性別分類

(3) 年代について

	人数	比率
20才代	0 名	0 %
30才代	1 名	2 %
40才代	13 名	21 %
50才代	14 名	23 %
60～64才	17 名	27 %
65～69才	4 名	6 %
70才代	12 名	19 %
80才代	1 名	2 %
合計	62 名	100 %

(無回答 3 名)



参加者の年代